

The University of Tokyo Foundation
Annual Report 2015

東京大学基金
2015年度活動報告書



時代の要請に応える — 東大ビジョン2020

東京大学が、国立大学法人制度に移行して13年目になります。この間、グローバル化が加速し、地球規模で取り組むべき課題が顕在化してまいりました。東京大学は、これらに対処する新たな知の創造とそれを担う人材を育成し人類社会に貢献するため、知の探求を知の活用へとつなげる「知の協創の世界拠点」を創ります。

我が国の財政状況が厳しい中で「知の協創」の場を創るには、戦略的に経営を強化し、基盤的教育、研究経費を全学で支え、財務運営を盤石なものとする必要があります。大学の総力を結集して大きな改革を進めるため、皆様には、今後なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

東京大学総長

五神 真

2015年度報告 (2015年4月～2016年3月)

東大基金 申込総額は20.17億円

東京大学基金2015年度の寄附金活動は、皆様からの温かいご支援により、総額20億円に達しました。東京大学基金に対しまして深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

皆様のご寄附は東京大学基金運営委員会のもと「東京大学基金」を柱として積立て、運用原資として活用させていただくとともに、寄附の目的に沿ってそれぞれの事業の支援に充てております。

寄附申込総額*	10,495件	2,017,161,847円
うち法人	328件	1,069,310,019円
うち個人	10,167件	947,851,828円

*寄附申込書に記載された金額

申込総額の内訳

目的を指定しない寄附	3.6億円 (363,925,228円)	● 「東京大学基金」のコアとして積立、運用原資として活用
目的指定の寄附	16.5億円 (1,653,236,619円)	<p>● 主なプロジェクト (金額は概算)</p> <p>〈キャンパス環境整備〉0.6億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 安田講堂改修 ● 新図書館の建設 (新図書館計画「アカデミック・コモンズ」) ● 小石川植物園温室改築 (Life in Green プロジェクト) ● 東大病院メディカルタウン基金 他 <p>〈奨学金等〉4.6億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ● さつき会奨学金基金支援 ● Go Global奨学基金支援 ● 留学生支援基金支援 ● グローバルリーダー育成プログラム ● 東大生海外体験プロジェクト ● PEAK奨学金 他 <p>〈教育・研究支援〉10.1億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カブリ数物連携宇宙研究機構支援 ● 史料編纂所支援 ● 理学系研究科支援 ● 数理解科学研究科支援 ● 農学生命科学研究科支援 ● 医科学研究所支援 ● 産学連携本部支援 ● KAGRAプロジェクト支援 ● マリン・フロンティア・サイエンス・プロジェクト (三崎臨海実験所) ● トランスレーショナル・リサーチ・イニシアティブ活動支援 ● プリンストン大学との戦略的提携支援 ● ブラチナ社会総括寄付講座 ● 食と生命総括寄付講座 ● 醸造微生物学寄付講座 ● 総合癌研究国際戦略推進寄付講座 ● スルタン・カブス中東研究寄付講座 ● DNP学術電子コンテンツ研究寄付講座 他 <p>〈その他〉1.2億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東日本大震災救援復興支援 ● スポーツ振興基金 他



国際的に存在感のある大学であり続けるために

東京大学は、2004年の法人化を契機に、戦略的に研究教育を推進するための運用資金として「東京大学基金」を設立いたしました。この間、多くの企業および個人の方々からご寄附を賜り、大学の教育活動やキャンパス整備に充てるとともに、期末残高100億円規模の基金にまで成長いたしました。皆様のご理解、ご支援に心より感謝申し上げます。大学間のグローバル競争が激化する中、国際的に存在感のある大学であり続けるために、奨学金事業の充実、様々な施設整備、若手研究者支援など世界のトップ水準の大学にふさわしい東京大学の基盤整備に努めていく所存です。今後とも一層のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

東京大学理事・副学長

古谷 研

東京大学基金期末残高の状況

東京大学基金	11,043,102,820円
うち非目的指定寄附基金	9,308,842,453円

(参考) 東京大学支援のため設けられているその他の基金

信託基金(米国)	5,000,000米ドル
カブリIPMU基金	12,500,000米ドル
スルタン・カブース 中東研究寄附講座用基金	2,500,000オマーンリヤル (1オマーンリヤル=約292円 2016.3.31現在)

◎協定等により寄附者が基金を設置し、自ら運用を行い、その運用益を定期的に東京大学基金にご寄附いただくものです。

東京大学基金の運用状況

東京大学基金による運用益 [※]	87百万円
---------------------------	-------

※東大基金の運用について

2015年度東京大学基金の平均残高は約100億円でした。東京大学基金残高のうち30億円に関しましては、2008年度から信託勘定を設定し独自の運用をおこなっています。残りの基金は大学全体の余裕資金との合同運用による長期運用をおこない、基金分は別管理をしております。運用は国債、地方債を中心に、ユーロ円債などを加えた国立大学法人の運用規制の範囲内で行っています。2015年度は信託勘定分30億円の利回りが0.86%、またそれ以外の70億円に関しましては利回り0.88%となり、全体の運用益は約87百万円となりました。今後も皆様からのご寄附を安全かつより有利に運用するよう努力してまいります。

東京大学基金の活用状況

東京大学基金の運用益	東京大学基金は適切に運用管理され、生じた利息については、以下の用途に使用されています。 ①奨学制度の充実 ②研究者支援 ③キャンパス環境の整備
目的指定寄附金	目的指定の寄附につきましては、該当プロジェクトの活動資金として活用しています。 プロジェクトの特性により、進行に合わせ計画的に使用するものや、一定金額に達するまで留保しているものなどがあります。
非目的指定寄附金	これまで「東京大学基金」のコアとして積立、運用原資として活用してまいりましたが、2015年度よりその一部を大学の重要な事業に充て、寄附者の皆様にその成果をお示しできるよう活用していきます。*

※東京大学基金の活用について

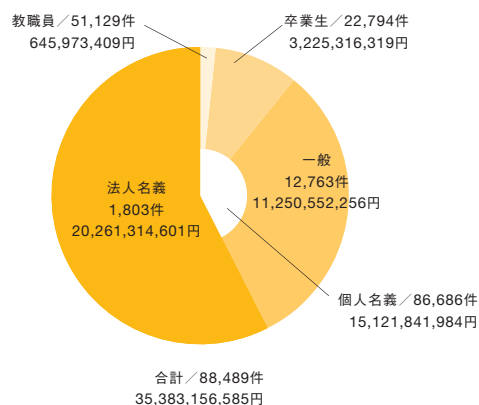
東京大学基金は、基金を積み上げ、その運用益を従来活用してきましたが、基金の更なる充実を図るには、基金本体を活用し、その成果を寄附者のご期待に目に見える形で応えていく必要があると考えています。この考えのもとに、2015年度は、基金運営委員会の決定のもと、初の基金活用事例として、前年度非目的指定寄附金受入額の2分の1に相当する3億円を安田講堂改修に充当いたしました。今後も、更なる基金の充実を目指すために、寄附者の方々のご期待に応える活用方法の検討を進めてまいります。

数字で見る寄附の実績 (2016年3月31日現在)

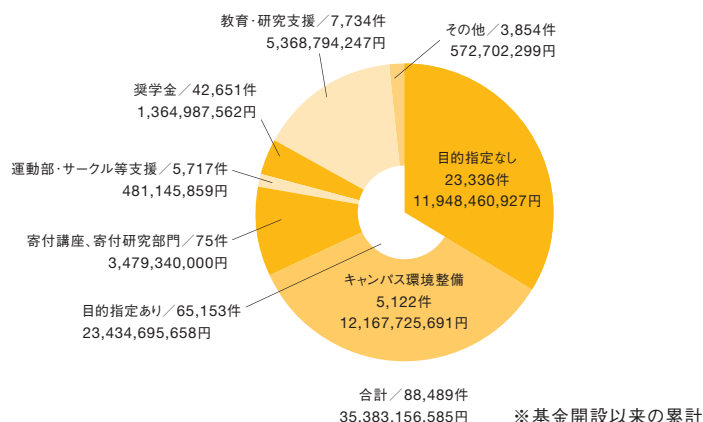
東京大学基金を設置してからの寄附実績(累計)は以下のとおりです。

※円グラフの割合は金額ベースです。

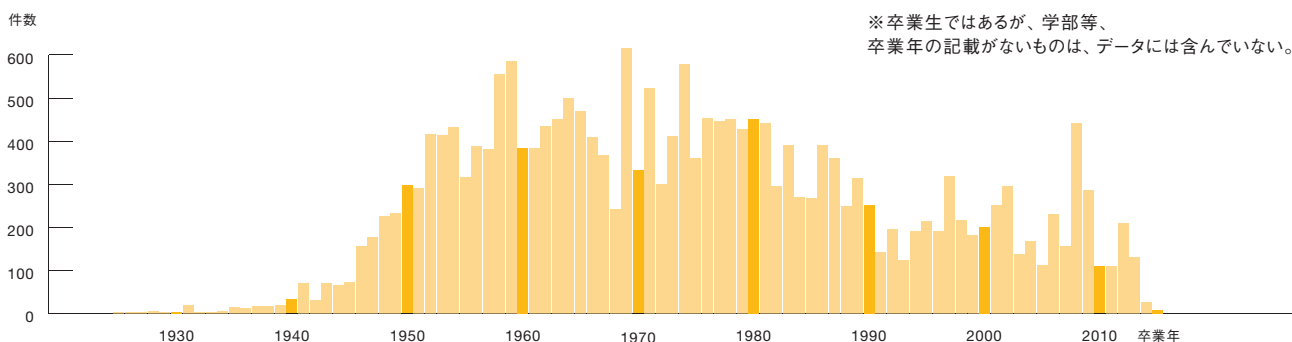
寄附者の内訳



寄附目的の内訳



卒業生寄附の内訳 (卒業年度データ比較)



称号別の人(件)数

称号	寄附金額	個人	法人団体
特別名誉会員	1億円以上のご寄附	24	45
栄誉会員	1,000万円以上のご寄附	66	181
特別貢献会員	500万円以上のご寄附	39	53
功労貢献会員	100万円以上のご寄附	467	140
貢献会員	30万円以上のご寄附	2,672	168
賛助会員	10万円以上のご寄附	2,922	102



東京大学基金銘板(貢献会員以上)

東京大学基金へのご支援のお願い

皆様の東京大学基金への更なるご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

- ご寄附のお申込み
- ① 書面によるお申込み: 指定の「払込取扱票」に必要事項をご記入の上、各金融機関窓口よりお振込みください。各プロジェクトへの指定寄附も可能です。
 - ② WEBサイト (<http://utf.u-tokyo.ac.jp/>) によるお申込み: 東京大学基金WEBサイトからもお申し込みいただけます。(クレジットカード・ペイジー・ネットバンキング可)

東京大学基金事務局

〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1 Tel:03-5841-1217 FAX:03-5841-1219 E-mail:kikin@adm.u-tokyo.ac.jp URL:<http://utf.u-tokyo.ac.jp/>

東京大学ビジョン2020 と 東京大学基金

東京大学ビジョン2020とは

2015年10月に公表された「東京大学ビジョン2020」は、2020年度に至る五神総長の任期中における行動指針です。「卓越性と多様性の相互連環」を掲げた「基本理念」に加えて、研究・教育・社会連携・運営の4つの「ビジョン」、及びそれを実現するための「アクション」で構成されています。

ビジョン1 [研究] – 新たな価値創造に挑む学術の戦略的展開

- 国際的に卓越した研究拠点の拡充・創設
カブリ数物連携宇宙研究機構 (Kavli IPMU)、サステナビリティ学連携研究機構、総括プロジェクト機構 (「太陽光を機軸とした持続可能グローバルシステム」総括寄付講座等)、真空イノベーション基金、ゼンショー 東京大学・ベトナム国家大学ハノイ校日本研究拠点プログラム、大型低温重力波望遠鏡 (KAGRA) プロジェクト
- 人文社会科学分野のさらなる活性化
経済学研究科 (金融機関のリスクマネジメント、流通を科学する (ニトリ))、総合文化研究科 (スルタン・カブース・グローバル中東研究)、情報学環 (角川文化振興財団メディア・コンテンツ研究寄付講座)、公共政策学連携研究部・教育部 (資本市場と公共政策)、附属図書館 (アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門)
- 学術の多様性を支える基盤の強化
新図書館計画「アカデミック・コモンズ」、情報学環 (DNP学術電子コンテンツ研究寄付講座)、法学政治学研究科附属近代日本法政史料センター (明治新聞雑誌文庫)、史料編纂所基金

ビジョン3 [社会連携] – 21世紀の地球社会における公共性の構築

- 学術成果の社会への還元
トランスレーショナル・リサーチ・イニシアティブ (TR機構)、高齢社会総合研究機構、農学生命科学研究科 (植物医科学)、情報学環 (総合癌研究国際戦略推進寄付講座)
- 産学官民協働拠点の形成
産学官民連携型農学生命科学研究インキュベータ機構 (アグリコクーン)、工学系研究科技術経営戦略学専攻、総合研究博物館 (大植文化ハウス)、大気海洋研究所 (沿岸センター活動支援プロジェクト)、東日本大震災救援復興支援プロジェクト
- 教育機能の社会への展開
東大EMP基金

「東京大学ビジョン2020」の項目に対応する主なご寄附目的の例をご紹介します。

東京大学は、この「東京大学ビジョン2020」に基づいて、21世紀の人類社会に貢献する「知の協創の世界拠点」としての使命を担うべく、全学の総力を結集して力強く改革を進めます。

ビジョン2 [教育] – 基礎力の涵養と「知のプロフェッショナル」の育成

- 国際感覚を鍛える教育の充実
長島雅則奨学基金、ゼンショー 東京大学・南京リベラルアーツ・学生交流プログラム、グローバルリーダー育成プログラム、東大生海外体験プロジェクト、PEAK奨学金制度（総合文化研究科・教養学部基金）、アジア環境リーダー育成プログラム、Go Global奨学基金（東京大学在学学生留学支援・海外派遣事業）、プリンストン大学との戦略的提携基金、Fung Scholarship
- 国際卓越大学院の創設
博士課程教育リーディングプログラム
- 学生の多様性拡大
東京大学アサツー デイ・ケイ中国育英基金、大和証券グループアジア留学生奨学基金、DMG森精機・東大IIT奨学基金、イオン・スカラシップ、（長島雅則奨学基金*）、古賀信介奨学基金（東京大学フェローシップ）、外国人留学生支援基金、さつき会奨学金基金
- 東京大学独自の教育システムの世界発信
（ゼンショー 東京大学・ベトナム国家大学ハノイ校日本研究拠点プログラム*）
- 学生の主体的活動の支援
東大スポーツ振興基金

ビジョン4 [運営] – 複合的な「場」の充実と活性化

- 基盤的な教育・研究経費の確保
理学系研究科・理学部基金、農学140基金、数理科学研究科基金、医科学研究所創立125周年／改組50周年記念事業「IMSUT One to Gogo基金」、東大病院メディカルタウン基金、マリン・フロンティア・サイエンス・プロジェクト、「東京大学の森」育成資金
- 卒業生・支援者ネットワークの充実
東京大学校友会 活動支援プロジェクト
- 世界最高の教育研究を支える環境の整備
情報学環・福武ホール、保健体育寮（スポーティア）・山中寮内藤セミナーハウス、農学生命科学研究科・フードサイエンス棟、21 Komaba Center for Educational Excellence（21 KOMCEE）、伊藤国際学術研究センター、先端科学技術研究センター・環境エネルギー研究棟、Life in Greenプロジェクト（小石川&日光植物園）、安田講堂改修プロジェクト

注：※は複数に該当する事例

2015年度 主なプロジェクトの成果

■ 安田講堂改修プロジェクト（終了）

2014年よりご支援をお願いしておりました安田講堂改修プロジェクトは、おかげさまで、2014年末に改修工事が無事終了し、ご寄附の募集を終了させていただいた2016年3月をもちまして、2,318件、累計314,397千円のご支援を賜ることができました。

2015年3月以降、工事のため2年にわたり学外で実施されていましたが卒業式及び学位記授与式を、再び東京大学の象徴である安田講堂で挙げていたしております。一方で、学術成果の発信の場や社会連携の拠点としても、本学に足を運んでくださる皆様をお迎えしております。

今回の工事は、東日本大震災による被害の補修と一層の耐震改修のために始められ、さらには、建設当初の計画案に近づけることを目指しました。そのため、歴史的な考察を何度も重ね、先人達の思いを知り、知恵と技術を結集いたしました。多くの皆様のご理解、ご支援とともに工事が成し遂げられ、東京大学の新たな歴史がまた一つ一つ刻まれております。今後も教育・研究の充実に一層の努力を重ね、ご期待に添いたいと存じます。



2016年3月25日 卒業式

■ さつき会奨学金基金

東京大学女子卒業生同窓会の「さつき会」は2011年に発足50周年を迎えました。東京大学に初めて女性が入学したのは1946年のこと。それから約70年が経過しても、なお女子学生比率が20%に満たない状況が続いております。

そこで、特に経済的負担が多いと推測される地方出身の女子学生の東大受験を促し、入学後の経済的・精神的なサポートを行うことで、次世代を担う女性をより多く輩出することを目的とした「さつき会奨学金」制度が、2013年度からスタートしました。

これまでの皆様のご支援により、2016年3月末時点で666件、寄附金累計額は1億円を超えてまいりました。そのため、受験前に内定する従来の「受験生向け」に加えて、新たに2016年度より、学部1年次に在学中の学生を対象とした「在学生向け」の募集も行うことになりました。

一人でも多くの優秀な女子学生に学びの機会を提供できるよう、引き続き温かいご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。



2015年6月3日、第3期奨学生の奨学金受給者証書授与式が開催されました。

■ 農学140基金（終了）

農学生命科学研究科・農学部は、1874年に創立されて以来、農林水畜産業の基盤を支えてきました。125周年（1999年）にご支援を得た人材育成事業を継続すべく、140周年にあたる2014年に立ち上げた「農学140基金」は、卒業生と農学関連分野の企業の方に呼びかけて2016年3月末まで募集しましたところ、個人・法人合わせて544件、累計46,678千円のご支援を賜ることができました。

ご寄付は引き続き学生の主として海外派遣等の支援に充て現場で課題を見出し行動する学習機会を促進する人材育成プログラムとして充実を図ります。また、国際シンポジウムの東京開催に対しても積極的な支援を行います。

急速に変化する国際環境の中で、「実学」としての農学の原点に立ち戻りつつ、今後も農学教育・研究の国際化を推進してまいります。

なお、本年7月には「農学140基金」に10万円以上をご寄付いただいた皆様に研究科主催の感謝の集いを開催し、研究科の教員・学生と親しく懇親させていただく予定です。



焼畑農業現場の派遣調査（インドネシア）

2015年度 活動報告会・特別セミナー等

4月6日 小石川植物園お花見特別開放2015 (功勞貢献会員・貢献会員・賛助会員対象)

東京大学基金の春の恒例行事「小石川植物園 お花見特別開放」を、4月6日(月)の植物園休園日に特別開放して開催いたしました。前日までの肌寒い曇りや雨のお天気から一転、当日は穏やかに晴れ、800名を超える寄附者、そのご家族やご友人にご参加いただきました。



2009年末に立ち上げました「Life in Green Project」では、2016年3月末までに累計1,663件、421,474千円のご支援を頂きました。小石川植物園の公開温室の建て替えは、2017年度の完成を目指しております。改修に向けて、なお一層のご支援をお願いいたします。

6月25日 東京大学基金 感謝の集い (前年度「貢献会員」以上になられた寄附者対象)

第9回目「東京大学基金 感謝の集い」を安田講堂および伊藤国際学術センターで開催いたしました。全国各地、また今年は韓国や台湾からの寄附者も含めて150名近い方々にご来場いただきました。第一部「感謝の集い」では前年度の東京大学基金活動のご報告と工学系研究科の千葉学教授の講演会、そして第二部「総長主催懇談会」が開催され、あっという間に楽しい時間は過ぎていきました。会の途中では、運動会応援部の演舞も披露され、「ただ一つ」を寄附者と学内関係者が一緒に歌って大変盛り上がりました。



10月17日 相続・遺言セミナー (東京大学基金寄附者・卒業生等対象)

ホームカミングデーで卒業生や地域の人で賑わう本郷キャンパスにて、会計人東大会のご協力のもと、3回目の「相続・遺言セミナー」を開催いたしました。午前の特別セミナーでは、駕海量明先生による講演「気になる相続や遺言のこと ～どうする相続税? どうなる遺言?」を約50名の方が熱心に受講されました。詳しい資料付きの分かりやすい講義で、理解を深めることができた大変好評でした。また、午後には、4名の公認会計士、税理士、弁護士の先生方による個別相談会が行われました。



12月2日 医科学研究所 特別セミナー (功勞貢献会員・貢献会員・賛助会員対象)

白金台キャンパスにある医科学研究所にて、東京大学基金特別セミナーとしては初めての医療関係のセミナーとなる、特別セミナー『世界一わかりやすいiPS細胞』を開催いたしました。対象寄附者の方に募集を行ったところ、130名以上の応募があり、約100名の方にご出席いただきました。当日は少し肌寒く小雨が降る時間もあり、特別セミナーから医科学研究所内の見学会まで約2時間半にわたるイベントでしたが、会場は熱気に包まれ、質疑応答や意見交換も活発に行われました。



東京大学基金では、ご寄附いただいた方に感謝の気持ちを込めて、こうしたセミナー等を開催しております。ご希望などございましたら、東京大学事務局までお寄せ下さい。